

# 来週の「売り物記事」はこれ



2019年6月7日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

## 女子サッカーW杯 鮫島彩の3度目の挑戦

9日(日)



サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」が7日開幕の女子ワールドカップ(W杯)フランス大会に臨みます。東日本大震災による所属チームの休部や度重なるけがを乗り越え、第一線を維持してきた鮫島彩選手(31)も、チーム最年長として自身3度目のW杯に挑みます。人気低迷が続く女子サッカー復権を目指し、奮闘を続ける鮫島選手の挑戦を追いました。



## フランダースの犬 日系記念碑が中国系石碑に

夕刊特集ワイド 10日(月)

1970年代にアニメがヒットした「フランダースの犬」。ベルギー北部フランダース地方のアントワープにある聖母大聖堂は、主人公の少年ネロが最期を迎えた舞台として、今なお多くの日本人観光客が訪れています。16年前には聖堂前に、日系企業の寄付により記念碑が建てられました。ところが2年半前に取り壊され、現在では中国資本が寄贈した石像に置き換わっています。中国の影響力はここにも及んでいるのでしょうか。

## 国際人材育成 公立校でも

くらしナビ面 11日(火)

グローバル人材を育成する国際バカロレア(IB)という世界共通の教育プログラムを導入する学校が増えています。今年3月時点で6年前の2・5倍の138校に上り、公立校にも広がりつつあります。オール英語ではなく日本語での授業も認められるようになったこと、コミュニケーション能力や課題発見力を育てるIBが文部科学省の目指す教育の方向性と合致していることが背景にありそうです。

## 論点 「24時間社会」

オピニオン面 12日(水)

コンビニエンスストア最大手セブン-イレブン・ジャパンが、24時間営業の返上を求める加盟店への対応を巡り混乱が広がったことを受け、時短営業容認へかじを切りました。買い物から公共料金の支払いまでいつでも用を足せる24時間社会が浸透した日本。人口減と少子高齢化が進む中、この便利なライフスタイルの功罪について、3人の論者に語ってもらいます。

## ブラックホール観察研究

科学環境面 13日(木)

日米欧などの国際研究チームが4月、ブラックホールの影を撮影することに初めて成功したと発表しました。ブラックホール研究の歴史は18世紀にさかのぼり、以来多くの研究者が挑んできました。人類が初めて目にした、光をも吸い込む宇宙の「黒い穴」はどんな天体なのか。研究の歴史と、今後期待される研究の展望に迫ります。

## 海外旅行先で使うスマートフォン、盗難・紛失への備えは

くらしナビ面 13日(木)

夏休みに海外へ旅行しようと計画を立て始めた人もいるでしょう。備えておきたいのがスマートフォンの契約内容や、盗難・紛失への対策です。治安の良くない地域で持ち歩いていると、盗難にあい、不正に利用されることもあります。国内では忘れられがちですが、▽SIMカードの暗証番号をセットしておく▽盗難・紛失に気づいたらすぐ利用停止の連絡をする——など準備しておきたいことを紹介します。

## セカンドステージ 80代の仕事と暮らし

くらしナビ面 14日(金)

年金世代の就労がテーマです。人手不足が続く労働市場の影響で、シルバー人材センターにもさまざまな仕事の依頼が来ています。心身の衰えを自覚しチェックする必要がありますが、空いた時間で年金プラスアルファの収入を得るだけでなく、地域で仲間を作り、社会貢献もするなど、現役世代とは違う仕事観を紹介します。

## 都市対抗野球の組み合わせ抽選会

運動面 16日(日)

第90回都市対抗野球大会の組み合わせ抽選会が15日に東京都内で行われます。大会は36チームが出場して、7月13日から25日まで東京ドームで行われます。記念大会のため、出場チームは例年より4チーム増えました。連覇を目指す大阪市・大阪ガス、ともに初出場の宮崎市・宮崎梅田学園と岡山市・シティライト岡山、前々回大会優勝の東京都・NTT東日本、8年ぶり出場の姫路市・日本製鉄広畑に注目が集まります。

※ 場合によっては内容が変更することがあります。